

栄光園だより  
第124号  
2021年7月31日発行  
発行  
社会福祉法人 栄光園  
別府市南荘園町3組  
〒874-0904 電話 (23) 2827  
http://www.eikoen.jp/  
編集 広報誌編集委員会  
印刷 大野印刷株式会社  
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

これからの栄光園嘱託医に  
求められるものとは

医療法人 松本小児科医院  
理事長兼院長 松本 重孝



社会福祉法人 栄光園 賛助会会長  
社会福祉法人 栄光園 児童養護施設・  
乳児院 嘱託医

1957年頃より私の父・松本常園が社会福祉法人栄光園の嘱託医を務め、92年11月より、私が後を継がせていただきました。それから既に28年以上の月日が経過したことに信じられない思いがします。子どもの頃から名前を知っていて、親子2代で関わりを持たせていただくことになった栄光園を愛する気持ちは、言葉では何とも言い表せないものがあります。

この28年間で、小児科医の果たすべき役割は随分と変化しました。当然ながら、栄光園の嘱託医に求められるものも大きく変わってきました。

長い間、小児科医療の中心は感染症との闘いでした。父が栄光園の嘱託医になった頃には、赤痢や日本脳炎やポリオで、多数の乳幼児が命を落としていました。衛生状態の改善、抗生物質療法、ワク

チンの進歩により、乳幼児死亡率は年々減少したものの、髄膜炎や敗血症を起す代表的な細菌であるHibと肺炎球菌ワクチンの導入が欧米より(前者では約20年、後者では4年)遅れた日本では、2013年に二つのワクチンが定期接種化されるまで年間850人の児が細菌性髄膜炎に罹患し、そのうち5%が死亡していました。94年冬には、乳児院のお子さんのひとりが細菌性髄膜炎に罹患して夜間に低体温(ショック状態)に陥るという出来事もありました。別府医療センターにすぐに対応していただき、人工呼吸器のお世話になりました。

その後、定期接種のワクチンも漸く他の先進国並みになり、重症感染症は激減しました。現在では、栄光園嘱託医の役割として感染症の診断・治療の重要性は相対的に低下し、いわゆる発達障害(注意

欠陥多動障害、自閉スペクトラム)への対応が極めて重要な課題になってきたと考えています。入所に至った原因として親による虐待が増えてきたことも大きな問題です。虐待により脳の発達にも障害が生じ、自閉症児と極めて似た症状が生じること(第四の発達障害とも呼ばれます)も知られてきています。

小児精神医学の専門家は、このような子どもたちを育てる施設の多くが大舎制で、幼児から高校生までが雑居しているという環境であることが大問題であると指摘していましたが、2013年より児童養護施設栄光園も小舎制(小規模グループホームとして養育する形式)に変化したのは素晴らしいことだと思います。乳児院も小舎制へ向けて動き出していると同じです。ホームのひとつをマツモトホームと名付けていただいたことは光栄です。

私は小児精神・神経について専門的に学んできた者ではありませんが、専門医や発達障害児に関わる多職種の方々と共に連携をしていくためにも、この分野について、エネルギーを振り絞って学んではいかなければならないと思っています。

最後に、虐待、発達障害などの問題を抱えたお子さんたちを悪戦苦闘しながらケアしておられる職員のみならず、敬意を表します。また、栄光園の子どもさんたちの診察を通じて多くのことを学ばせていただいていることに感謝します。

追記:私は中学生のころから、3代目園長であり、プロの作家でもあった故小郷穆子先生の文学の大ファンであることを申し添えます。高校生の時、父の使いとして栄光園へ伺い、初めてお会いしたときはドキドキしました。70代でご逝去されたことが本当に惜しまれます。

**グレースホームの集い**  
“夏の集い”延期のお知らせ

恒例のグレースホームの集いですが、飲食を伴う行事でありますので、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、今回は、開催を見合わせます。現在ワクチン接種が進んでおり、政府の発表では、11月までには国民全体の接種が終了する予定とのことですので、年明けの2月頃に改めて卒園生が集まれる機会を設けたいと考えております。来年ワクチン接種を済ませ、みなさんと楽しい再会ができることを願っております。

子どもの作品  
水彩画: カブトムシ

畑のともろこし

# 児童養護施設

## オゴウホーム

### カラフル集会といいねの木

児童指導員 東條 岬

梅雨の晴れ間の青空は、すっかり夏色になりました。夏の始まりを感じさせるように子どもたちは額に汗を流し、今日も元気に遊んでいます。

今年度オゴウホームは、新しい取り組みを始めます。今回はその取り組みの2つを紹介します。1つはカラフル集会です。カラフル集会とはホームの子どもたちと職員が集まり、ホームのことについて話し合う会です。もう一つはいいねの木です。子どもと職員がいいところを見つけ、書き出し貼りだしていく取り組みをします。いいところを見つけた子どもや職員が果物や花をモチーフにしたメモ紙を大きな木の絵に貼りだしていきます。たくさん見つけることができると思います。実り多い大きな木になるようになっていきます。ホーム全員でいいねの木を育てあげ、良いところを見つけられるような人になってほしいと考えています。



6月に第1回カラフル集会がありました。話し合いでは、会や木の名前決めをしました。みんなの気持ちを色に表してそれぞれの色を大切にしようとのことから会の名前はカラフル集



ども一人ひとりの色が明るくなり、いいねの木がホームのシンボルとなるように、共に成長できることを願っています。

## マツモトホーム

### ゴールデンウィークのホーム行事

児童指導員 吉村 綾香

5月2日に本園グラウンドにてバーベキューを行いました。まずは、全員で買い出しに行きました。「このお肉が良い」「お菓子も買おう」など自分たちの好きな物を選んで購入していました。子どもたちも火おこしなどの会場設営や食材準備を手伝って、準備の時間も楽しい時間となったように思います。4歳の女の子は小さなおにぎりをたくさん作って、皆に振舞ってくれました。「もつとお肉ほいしい」と言ったり、自分で好きな物を焼いたり各自好きな物をお腹いっぱい食べるのが出来、大満足な様子でした。その後



火を楽しみました。中高生は「え、花火!? やったー!」と大喜び。4歳の女の子は、最初は花火が怖かったようですが、他の子どもたちの様子を見て徐々に楽しむことが出来ていました。昨年からの新型コロナウイルス感染防止のため、思うように外出が出来ず、子どもたちも多くの我慢をしてきました。ホーム行事も行えず、今回も外出は難しいため園内での行事となりましたが、久しぶりのホーム行事を思う存分楽しめたのではないかと思います。

## 乳児院

統括グループリーダー

得能 三志郎

日に日に暑さが増してきました。今年梅雨入りは例年になく早く、室内で過ごすことが多いですが、乳児院の子どもたちは、モリモリ食べ、たくさん遊び、元気いっぱいです。そんな子どもたちの様子をのぞいてみました。

### 『雨の日のお散歩』

梅雨に入り、雨の降る日が多く、なかなか戸外に出る機会がありませんが、子どもたちは、窓から外を眺めながら、『あめ、あめ』と指さしてみたり、『ぴちぴち、



ちやぶちやぶ♪』と歌うなど、とても興味を示していました。

そこで、小雨の時や雨上がりの時などカッパを着たり、傘をさして散歩に出かけました。傘にあたる雨粒の音が鳴ると目を輝かせて、雨粒の音を楽しんでいました。また、水たまりを見つけると、水たまりに足を入れ、水をはじいてみたり、泥を手で触ってみたりと楽しむ姿が多くあり、よい経験となりました。

### 『緊急対応に備えて』

0歳から2歳前後までの子どもたちが生活を送っている乳児院では、誤飲や嘔吐による窒息、1歳未満の子どもたちには発熱しやすい、SIDS(乳幼児突然死症候群)という原因不明の心肺停止などのリスクの高いと言われていきます。



そこで、緊急時に迅速に対応できるように、窒息時の対応や心肺蘇生、AED(自動体外式除細動器)使用、救急連絡などの一連の流れを職員が連携して行えるように、定期的に看護主任を中心に訓練しています。今年には実際に使用できる訓練用AED(電流は流れない)を消防署からお借りして行いました。普段、笑顔で子どもたちと関わっている職員も、この時ばかりは、真剣にあらゆる場面を

想定し、訓練に挑んでいました。幸いにも私が就職してからは、このような緊急対応事例は発生していませんが、日ごろからの訓練が緊急事態時に力を発揮するのだと改めて感じました。

## 青山保育所

### 遊びを通して育つ力

主任保育士 二宮 孝介

梅雨に入る前、子どもたちがコガネムシの幼虫やダンゴムシを見つけて夢中になっている姿をよく見かけました。会話を聞いていると「こっちのスコップのほうが掘れるよ」「あっちの方も掘ってみようよ」「先生、虫かご無い?」といった声が聞かれました。大事にしたい保育の1つに子ども主体の保育があります。この場面では子どもたち自身が虫探しを始めて、虫を探することに夢中になり、よりたくさん見つけるために、また、見つけた虫を観察するためにどうすればよいかを考えていると思えました。まさしく主体的に遊んでいました。

この時、子どもたちには目標に向かってがんばる力や、友だちと関わる力が育っているとされます。これらは非認知能力と呼ばれ、将来的により良く生きるために必要になってくる力です。子ども主体の保育を目指すために、子どもたちと話し合っただけでは決めたり、好きな遊びを選んだりできるような保育士がその環境をいくつか準備するといったことが必要になってきます。また子どもたちとの会話も、遊びのアイデアを引き出

したり、一緒に考えたりするような応答的なものであることが大切だと思います。遊びについて口を挟みたくなくなり、すぐに手助けをしなくなったりする気持ちを抑えて、主体性を育んでいけるようにクラス担任と協力して日頃の保育にあたっていきます。

### おおきくなあれ

保育士 清原 里奈

きりん組3歳児はピーマンを育てています。今回は、土作りから苗植え、水やりまでの過程を行いました。「土が臭かった」と直接触れた土の匂いを感じたり、苗の根を見て「なんかくもの巣みたい!」と子どもたちなりの言葉で表現したりと楽しみなながら苗植えをしていました。毎日、その日のお当番さんと水やりや観察をし、子どもたちが生長の変化に気づいたときには共感しながら夏に収穫をして美味しく食べられるように子どもたちと頑張っ育てていきたいと思っています。



### 初めての体験

保育士 阿部 菜月

うさぎ組0歳児は、外の砂場にお山を作って、みんなで裸足なつて遊びました。初めて砂に足をつけると慣れないこともあってか泣いてしまう子どももいましたが、砂山にダイブして遊ぶ子どももいました。裸足で遊ぶことで脳の発達の促進



や運動神経の向上、リラクゼーション効果、自律神経の安定などの効果があります。また天気の良い日には砂場で裸足になって遊べたらと思います。

### 歯みがきが始まりました

保育士 松本 真耶加

きりん組3歳児は、6月より歯みがきが始まりました。事前に「はみがきれっしやしゅっぱつしんこう!」という歯みがきの絵本や「ねずみのはみがき」という手遊び歌などをしていたので、歯みがきが始まるのを楽しみにしていました。初日からやる気満々で歯みがきを嫌がる子もおらず、自分できちんと歯みがきをする姿がありました。

「先生!綺麗にみがけてる?」と見せてくれたりしながら歯みがきを頑張っています。これからも食後の歯みがきが習慣になるように促していきたいと思っています。



### ばんだ組で流行っています

保育士 尾原 亜紀

ばんだ組1・2歳児では今「マンボウ」が流行っています。きっかけは絵本に登場したマンボウ。変わった姿に興味をもったのか、「マンボウ」という言葉の響きが面白かったのかはわかりませんが、その日から何かあると思いだしたかのよう「マンボウ」と言ったり、誰かがマン

ボウの話をしていると保育室のあちこちから「マンボウ」と聞こえてきたりする程、ブームになっています。そうしたことからマンボウを題材とした他の絵本や写真が載っている絵本を見たりしているうちに海の生き物にも興味を持ち、友だちの洋服に描かれている海の生き物に気づく姿も見られました。

興味や関心を示すことは子ども自身「夢中になれること」「好きなこと」に対してだと思っています。興味・関心はやる気を生み出す源で、それが行動に移されて成長に繋がっていきます。興味を持つためには、まずは見て体験してみないと始まりません。保育士も一緒に活動を楽しんでいく中で子どもたちの世界観を広げていきながら、いろんな体験を通して、様々なことに興味や関心を持つ「きっかけ」を作っていく保育をしています。



## 野口保育所

主任保育士 末吉 佳奈

新年度がスタートしてあっという間に3ヶ月が経ちました。

県内の新型コロナウイルスの影響で親子遠足や保育参観など保護者参加の行事を中止にしました。そんな中でも子どもたちが毎日楽しめるように職員で考えながら今年も日々保育に取り組

んでいます。子どもたちは保育士や友だちと毎日たくさん走り回って一緒に遊び、元気に過ごしています。梅雨時期ならではの色々な遊びを楽しみ、今月からは子どもたちが楽しみにしているプール・水遊びも始まりです。  
 そんな子どもたちの様子を少しずつですが、お伝えします。

### 子どもの日のお楽しみ会

新年度が始まって初めての行事でした。5歳児の男の子と玄関に兜やこいのぼりを飾りました。

お楽しみ会では、新しいクラスのお友だちや担任の紹介、イラストを使ったクイズをしました。小さいクラスの子どももクイズに参加し盛り上がりました。給食では、各クラスからこのぼり券を配布し、2歳児クラスから上のクラス子どもたちは給食室の前で、給食の先生に券とお弁当を交換してもらい、すごく喜んでいました。給食の先生が可愛く飾りつけてくれた給食を子どもたちはおかわりしてよく食べていました。



### ピーマンとミニトマトの苗植え・梅ジュースも作ったよ

今年5歳児が食育の一環としてピーマンとミニトマトを植えました。「花が咲いた!」トマトの実が緑色になった

よ!」など毎日水やりをして観察する中で生長を発見し、喜んでいきます。別の日には保育士が家から持って来た梅を使って、梅ジュースを作りました。一人ひとり上手にヘタを取り、ビンに梅や冰糖を入れました。毎日ビンの中を見ていて、出来る日を心待ちにしているようです。野菜を植えるだけでなく、生長を子どもたちと見守りながら、食べ物の大切さや収穫の楽しみなどを一緒に学んでいきたいと思えます。



### みんなで手洗いしよう

感染症の多くは手を介して体内に侵入することが多いと言われています。子どもたちが一番身近に出来る感染症予防として野口保育所では6月4日〜12日まで「手洗い週間」とし、紙芝居や絵本などを通して改めて手洗いの大切さを食育活動の中で子どもたちに話をしました。子どもたちは毎日意識をしながら上手に洗っています。手洗いが自分たち



### 聖書の言葉

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」

別府不老町教会伝道師 尾崎 二郎

(マタイによる福音書11章28節)

「コロナ疲れ」という言葉が広く語られるようになってから一年以上が経過しました。私たちは人の命を奪う新型コロナウイルスに加えて、コロナ渦中で人々が語り合う、恐れや不安を煽るような言葉の数々によっても、心身を害されてきたと思えます。

今日の聖書の言葉は、イエス様が私たちに語られた御言葉で、私たちの心身を益するものです。「コロナ疲れ」に陥っている方は、是非このイエス様の御言葉で癒されて下さい。

イエス様は私たちに「休ませてあげよう」と言われます。それはどのようなにしてか、と言いますと「わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる」と続けられます。これを聞くとイエス様が言われる休み、ということは単に心身を安静にして、たまった疲れを取るということではないようです。

このことはいわゆる巣ごもり生活でコロナ疲れに陥っている方には腑に落ちることでしょう。私たちは真の休みを得る為には、その休みに至るための道筋や方法や知識を積極的に学んでいく必要があることでしょう。

イエス様は目には見えませんが、彼を信じる者には、一対一の教師として私たちに教え導いてくれます。巣ごもり生活と言っても、その有様は三者三様です。例えば、巣ごもり生活でなかなか外出も出来ず、ひたすら屋外の情報をテレビから得ようとして、居室に座り続けていた方もおられます。この方はそのような生活で、コロナ疲れを溜めてきたといつてよいでしょう。この方は、イエス様の、「わたしたちは、何も持たずに世に生まれ、世を去るときは何も持って行くことができな。食べる物と着る物があれば、わたしたちはそれで満足すべきです。金持ちになろうとする者は、誘惑、罠、無分別で有害なさまざまな欲望に陥ります。その欲望が、人を滅亡と破滅に陥れます。」(テモテへの手紙1-6章7節)という御言葉に教えられるかも知れません。私はイエス様の御言葉を紹介するだけです。この御言葉が今のこの方に最適かどうかは私には分かりませんが、イエス様は知っておられます。

あなたのことを全てご存じのイエス様はあなたに最適の御言葉を教え、あなたを魂の安らぎへと導きます。

で予防出来る方法の一つでもあるので、引き続き正しい手洗いの大切さを伝えていきたいと思えます。



3歳のお友だちは歯磨きも始めました。毎日はりきって磨いていますよ。



### 雨の日も楽しんで遊んでるよ

保育園では各クラス梅雨時期ならではの遊びを楽しんでいます。4、5歳児クラスでは室内にカラーボックスや平均台、フラフープなどを並べアスレチックを作りました。子どもたちの目はキラキラしていて、ジャンプやケンケンパツをしたり、平均台を渡ったり...と何度も楽しんでいました。他のクラスもシャボン玉や梅雨の制作遊び、広告紙遊びなど楽しむ姿があり、梅雨はなかなか外で遊べなかつたりするので、職員や子どもたちと一緒に工夫しながら雨の日も子どもたちは楽しんで遊んでいます。



## 地域支援活動 集いの場くるみ

地域支援担当 原田 康子

### 4月の活動

4月は、春のレクリエーションでドッチボールをしました。晴天に恵まれ広いグラウンドで思いっきり体を動かして遊ぶことができました。

はじめは、縦割りで高学年と低学年入り乱れての活動でしたが、「小さい子にボール回してあげよ。」というような低学年の子どもたちを思いやる言葉も聞かれ、改めて縦割りの関わり大切さも再認識しました。子どもたちにとっては大きな学びの場となっているように感じました。

また、昨年度までくまの活動に参加していた今年中学生になる児童が、スタッフとして参加してくれました。これまでとは違って、スタッフの打ち合わせにも参加して、子どもたちを受け入れる準備も手伝ってもらいました。活動を支



える側になり周りへの心遣いなども学んでいってほしいです。活動を支えるスタッフの一人としてこれからもよろしくお願ひします。

### 6月の活動

5月は、感染者が急増し活動を見合わせましたが、6月に入り各地で出されていた緊急事態宣言もほとんどの地域で解除され、大分県の感染者数も随分減ってまいりましたので、6月は、無事開催することができました。



当日の朝、久しぶりに会う子どもたちの姿を見てとてもうれしかったです。コロナ禍を経験したからこそ人と出会うことの喜びを改めて感じております。

今回は、久しぶりに「ポッチャ」をしました。今回の参加者の17人が4チームに分かれてリーグ戦で対戦しました。1チームが3試合ずつ試合をするのですが、チームごとに作戦を立てたり、スリーパーショットが出たりして最後まで盛り上がった活動でした。

活動の最後に子どもたちに、アンケートに答えていただいたのですが、「負けたけどみんな楽しそうにしていたので良かったです。」など、ほとんどの子どもたちから「楽しかった」という感想を聞くことができました。

また、この活動をサポートしてくださっている大人の方たちへのアンケートでも子どもたちの楽しんでくれている

姿、工夫して頑張っている姿、周りへの優しい心配りをしている姿など子どもたちの見せてくれた様々な姿がうれしかったとの感想を聞くことができました。

子どもたちへのアンケートの中で、今後やってみたい活動を聞いてみると、「キャンプ」や「外で遊びたい」「バレー」「リレー」「映画がみたい」など様々な意見を聞くことができました。また、「みんながやりたい活動を決めて、その活動をみんなで行いたい」というとても主体的な意見も聞かれました。できるだけ子どもたちが主体となって活動を進めていけるような工夫が必要となってきていると感じました。年齢差の大きな集団の中で、子どもたちの主体的な活動をサポートするためにもこれからはますます大人の力が必要となってまいります。

今後子どもたちと活動について話し合い、くるみの活動を進めてまいりたいと考えておりますのでお力添えをお願いいたします。

### くるみ 今後の予定

8月21日(土)・9月18日(土)

※子どもたちへのアンケート結果を参考にし、今後の活動を見直してみました。新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、11月頃デイキャンプを予定しています。

### 2021年度4～6月 職員の動静 採用

- 青山保育所
  - 早水 有里 (保育士・パート) 6月
  - 畠中 瑞記 (保育士・パート) 7月
- 野口保育所
  - 伊藤 文代 (調理員) 6月

2020年度

決算報告

貸借対照表

(自)2020年4月1日(至)2021年3月31日

(単位：円)

資産の部

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
流動資産	243,849,664	74,911,820	59,365,120	57,345,585	25,607,311	26,619,828
基本財産	218,282,944	0	196,732,272	13,873,683	5,219,840	2,457,149
その他の 固定資産	505,343,830	436,112	182,178,881	249,817,217	39,156,098	33,755,522
資産の部合計	967,476,438	75,347,932	438,276,273	321,036,485	69,983,249	62,832,499

負債の部

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
流動負債	18,183,249	0	7,508,573	3,278,764	2,657,332	4,738,580
固定負債	51,383,390	0	17,015,415	14,340,402	9,762,372	10,265,201
負債の部合計	69,566,639	0	24,523,988	17,619,166	12,419,704	15,003,781

純資産の部

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
基本金	119,370,926	0	65,190,353	45,671,093	8,509,480	0
国庫補助金等 特別積立金	124,877,643	0	108,866,977	9,698,222	5,192,457	1,119,987
その他の 積立金	418,992,000	0	145,922,000	223,803,000	28,547,000	20,720,000
次期繰越活動 増減差額	234,669,230	75,347,932	93,772,955	24,245,004	15,314,608	25,988,731
純資産の部合計	897,909,799	75,347,932	413,752,285	303,417,319	57,563,545	47,828,718
負債及び 純資産の部合計	967,476,438	75,347,932	438,276,273	321,036,485	69,983,249	62,832,499

社会福祉法人 栄光園

評議員

役員

評議員  
選任解任  
委員会

評評評評評評評 監監理理理理理 事  
議議議議議議議 事事事事事事事 長  
員員員員員員員

文影平細長山友 滝吉本中近猪安江 桑滝吉岡安  
屋山野井野名永 口本庄島藤股部口 野口本部東  
典隆紀 哲陸丈 安智知 通 敏 安光秀  
美 夏  
子之代勇也子一 真宏宏子功安保一 誠真宏瑞典

2020年度寄付・招待・奉仕報告

項目	協力者人数	金額	備考
賛助金	44名	840,000円	子どもの養育の事業費等
一般寄付	77名	4,165,936円	高校生の部活 児童の習い事及び社会体験
自立進学資金 <sup>※</sup>	19名	542,000円	卒園者自立生活支援(無利子貸付 と返済)含進学児童に支給 障がい福祉サービスを受ける児童に支給
特別物品寄付 招待・奉仕	173名		農作物・菓子類寄付 コンサート招待・手振り 学習ボランティア・散髪等
計	271名	5,547,936円	

自立進学資金について…要件を満たした障がい福祉サービスを受ける児童1名に15万円支給しました。

※自立進学資金 ●上級学校(4年制大学・短期大学・専門学校)に進学する児童に50万円支給する。

【規定】 ●支給以上の進学に必要な経費は、サポートを受けることができる。

しかし、奨学金制度等を利用し返済を行う。(一部記載)

上記のように児童養護施設で、自立進学資金の規定を2018年11月30日に作成  
しました。そして、2019年度専門学校に入学する児童1名に支給しました。

2020年度

## 決算報告

## 資金収支計算書 (自)2020年4月1日(至)2021年3月31日

(単位:円)

## 事業活動による収入

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
児童福祉事業収入	450,560,704	0	247,477,307	203,083,397	0	0
保育事業収入	191,281,880	0	0	0	97,824,510	93,457,370
経常経費寄附金収入	5,574,936	1,799,000	3,449,724	326,212	0	0
受取利息配当金収入	43,308	916	13,058	22,899	3,906	2,529
その他の収入	7,074,590	2,240,950	2,360,930	680,250	885,980	906,480
事業活動収入計①	654,535,418	4,040,866	253,301,019	204,112,758	98,714,396	94,366,379

## 事業活動による支出

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
人件費支出	489,065,601	0	184,955,696	157,441,277	73,685,122	72,983,506
事業費支出	63,094,185	0	26,934,793	13,165,936	10,730,086	12,263,370
事務費支出	30,683,052	2,408,380	12,212,290	8,590,858	5,401,428	2,070,096
その他の支出	2,073,348	0	2,073,348	0	0	0
事業活動支出計②	584,916,186	2,408,380	226,176,127	179,198,071	89,816,636	87,316,972

## 事業活動資金収支差額

事業活動資金収支差額③=①-②	69,619,232	1,632,486	27,124,892	24,914,687	8,897,760	7,049,407
-----------------	------------	-----------	------------	------------	-----------	-----------

## 施設整備等による収入

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
固定資産売却収入	264,000	0	0	0	264,000	0
施設整備等収入合計④	264,000	0	0	0	264,000	0

## 施設整備等による支出

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	6,350,819	288,750	4,281,469	608,000	453,200	719,400
施設整備等支出合計⑤	6,350,819	288,750	4,281,469	608,000	453,200	719,400

## 施設整備等資金収支差額

施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	-6,086,819	-288,750	-4,281,469	-608,000	-189,200	-719,400
------------------	------------	----------	------------	----------	----------	----------

## その他の活動による収入

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
長期貸付金回収収入	0	0	0	0	0	0
その他の活動による収入	0	0	93,780	0	0	0
その他の活動収入計⑦	93,780	0	93,780	0	0	0

## その他の活動による支出

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
積立資産支出	57,705,200	0	20,521,280	23,718,320	8,492,160	4,973,440
その他の活動による支出	0	0	0	0	0	0
その他の活動支出計⑧	57,705,200	0	20,521,280	23,718,320	8,492,160	4,973,440

## その他の活動資金収支差額

その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	-57,611,420	0	-20,427,500	-23,718,320	-8,492,160	-4,973,440
-------------------	-------------	---	-------------	-------------	------------	------------

## 当期資金収支差額合計

	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	5,920,993	1,343,736	2,415,923	588,367	216,400	1,356,567

## 前期末支払資金残高

	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
前期末支払資金残高⑪	219,745,422	73,568,084	49,440,624	53,478,454	22,733,579	20,524,681

## 当期末支払資金残高

	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
当期末支払資金残高⑩+⑪	225,666,415	74,911,820	51,856,547	54,066,821	22,949,979	21,881,248

# 栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の励みに大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。

【2021年4月1日～2021年6月30日(含む)】

## 賛助金

- 安部道人様 大分市
- 岩田哲也様 大分市
- 大内矯正歯科 大内英明様 大分市
- 尾崎二郎様 大分市
- 金谷正明様 大分市
- 川村隼秋様 熊本市
- 木村洋子様 大分市
- 立花旦子様 大分市
- 平野八郎様 別府市
- 帆足琢也様 練馬区
- 舛田泰義様 別府市
- 村津忠久様 別府市
- 山口産業(株)様 別府市
- (有)元気堂本舗 大分市
- 渡邊暁子様 別府市

## 一般寄付

- 安東秀典様 大分市
- B混記念合唱団クルールあおやま様 別府市
- 匿名名様 大分市
- 匿名名様 別府市
- 匿名名様 別府市
- 原順子様 別府市
- 松本小児科医院 松本重孝様 別府市
- ルミエール歯科 藤井茂仁様 別府市
- 八代会会長 河野一昭様 日出町
- 協力者 首藤広文様・中根伸一様
- 角野勝久様・浅野誠三郎様
- 佐藤義弘様・嶋田德行様
- 佐藤聖二郎様・穴井伸一様
- 松尾拓也様

## 自立進学資金

- 安東秀典様 大分市
- 梶原康弘様 大分市
- 神田慶子様 杵築市
- 匿名名様 別府市
- 匿名名様 大分市
- 平川久美子様 別府市
- 山口順子様 別府市
- 松本常圃様 別府市

## 特別物品寄付

- 子ども服 合澤玲子様
- 一六タルト 浅海重子様
- 弁当(全児童・職員分) 阿南賢彦様
- 絵本・CD ありさんプロ(株)様
- 衣類 池田絢子様
- 米・ホットケーキ・写生セット・衣類 池田裕美様
- パン 石窯工房モコモコ別府店様
- パン 伊藤一幸様
- 玉葱 今橋沙歩様
- 甘夏 ミルク缶、おむつ 上杉敬三様
- お菓子 たんぼぼ食堂 大柳恵子様
- 米 九州労働金庫別府支店様
- 絵本 荻原書籍様
- 食パン 銀座に志かわ17号店大分野店様
- 乳児衣類 工藤純子様
- 子ども服 久保かおり様
- わらび餅 黒木正道様
- 子ども服 黒山美穂子様
- タオル ココロト様
- 米 古城新聞店 古城雅春様
- 子ども服 後藤正巳様
- ミルク 崎村栄子様
- 乳児衣類 佐藤枝美様
- 乳児衣類 佐藤尚子様
- お弁当・くすだま・サツマイモ 澤田智子様
- お菓子(こどもの日) さわやか別府の里様
- 乳児衣類 柴田佳代子様
- 乳児衣類 鳴崎将人様
- 洋服 秦秀典様
- 布団・毛布・シート 瀬山美恵様
- お菓子 宗松美様
- お菓子 友永優子様
- 乳児衣類 友永優子様

- いちご・リンゴ・パズル・シャボン玉・衣類・スイカ・サクランボ 中山田正春様
- たけのこ・たらのめ・ウド・卵・青梅・漬物 樽・おもしろ・びわ・ヤマモモ・青じそ (株)九州錦運輸 二宮洋典様
- マスク・バッグ・ペットボトル 萩本憲次様
- 絵本 原岡茂子様
- 乳児衣類 原田幸子様
- 衣類 榎垣洋子様
- 子供服・おもちゃ 日高鈴江様
- 衣類・ベビーカー 姫内綾香様
- 衣類 廣野依香様
- カップラーメン フードバンク様
- 米・野菜・果物
- フルゴスベル・イエスキリスト教会様
- 絵本 (株)フレール館様
- 乳児衣類・靴下・スタイ 前田和美様
- 子ども用プール・食事券 前原省吾様
- (有)大住建販 代表取締役 Meagan Jose Diaz様
- 衣類・おもちゃ Meggan Jose Diaz様
- たけのこ・たまねぎ・ジャガイモ NPO法人麦の会様
- 乳幼児衣類 矢澤あや美様
- 衣類 山本宣雄様
- お菓子 ラブリーテーブルティールームアンドデリ 山本花織様
- 子ども服 山本恵美子様
- お菓子 ユーコーラッキー 南のヶ浜店様
- お菓子 ユーコーラッキー 上人ヶ浜店様
- 子供服 吉川志乃様
- トイレットペーパー 荘園町老人クラブ・荘寿会様
- トイレットペーパー 荘園町老人クラブ・荘寿会様
- おむつ 渡辺英喜様
- 乳児衣類 匿名名様
- 乳児衣類 匿名名様
- 幼児用自転車・毛布・衣類 匿名名様
- バンボ(子ども用いす) 一般社団法人ぐるーん様
- 子供用衣類・雑貨・お菓子 福本陽子様

## 招待・奉仕

- 小中学習ボランティア
- 安東秀典・井上せつ子・山口香様
- 児童の散髪 WEST VILLAGE様
- 書道 Beauty MORE様
- ピアノレッスン 奥山靖子様

## 金曜学校

- 尾崎二郎様
- 庄司宣充様
- 吉武二郎様
- 猪股通安様
- スポーツボランティア タイム・ティック様
- 集いの場くるみ
- 平川義文・平川順子・梶谷和美様

## 賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割も可。  
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。  
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌「栄光園だより」を送付させていただきます。

郵便局での振込は左記までお願い致します。  
口座名義 社会福祉法人 栄光園  
口座番号 01930012120748



## 苦情等相談窓口

\*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。  
tel.0977-23-2827  
fax.0977-23-7520  
mail eikoen@live.jp

## 編集後記

新型コロナウイルスの感染が広がりがじめ2回目の夏を迎えます。  
感染予防の切り札としてワクチン接種が始まりましたが、すべての国民にいきわたるまでには、まだしばらく時間が必要なようです。東京オリンピック・パラリンピックなど大きなイベントもウイルスの感染拡大にどのような影響をもたらすのか注意して見守っていかねばならないと思っております。  
人類の叡知を結集してウイルスを封じ込め、これまでの日常を取り戻せることを願っています。(原田)